

# キヨへさんの長寿をお祝い



多田町長らから祝福されるキヨへさん(右から2人目)

天嶽の千葉キヨへさんが昨年十二月二十五日、満百歳の誕生日を迎え、多田欣一町長と紺野朋夫町社会福祉協議会長が自宅を訪れ、家族や親戚らとともに長寿を祝いました。キヨへさんは、明治三十六年の生まれ。若いときは、農業に精を出し、養蚕やタバコ栽培なども手掛けてきました。また、手打ちうどん、かまもちやまんじゅうづくりが得意で、家族によく振舞ったりしていました。

八人の子どもに恵まれ、現在は、長男の孫作さん(モ)夫妻らと六人で生活。おとし十二月には、骨折で三ヶ月の入院生活を送り、退院後はベットでの生活が主となってしまいました。この日、家族らに祝福されると「どうもありがとうございます」と元気にお礼を述べました。

三女の皆川マツさん(五)は八日町には、「畑仕事などで人一倍働き、汗を流してきたことが長寿の秘訣では」と話し、「たくさん甘えてもらって、これからも長生きしてもらいたい」とさらなる長寿を願っていました。



大会4連覇を果たした新切チーム

## 王者の風格、新切が優勝

第四回町地区対抗綱引大会が一月十日、生涯スポーツセンターで行われました。大会には、各自治公民館から八チーム、約百人が参加。一チームは、男女混合八人(体重制限なし。男子四人以内)で編成されました。

競技は、一本引きで勝負。二ブロックに分かれてリーグ戦をし、両ブロックの同じ順位チーム同士の対戦で、最終順位を決定しました。

決勝は、新切と両向が三本引きで対戦。熱戦となりましたが新切が二本を先取りし、大会四連覇を果たしました。



願いごとをする園児たち

世田米、有住両保育園児が、新春の恒例行事となっている初もうでに出掛けました。

一月七日には、世田米保育園の園児が、大崎地区の天照御祖神社を訪れました。持参したお金やお米を賽銭箱に入れ、「字が読めるように」、「病気をしないで、健康でいられるように」などとお願いを。なかには「一年生になったら、テストで百点を取れますように」と願う児童もあり、真剣な表情で、小さな手を合わせていました。

願いに園児が初もうで



珍しい話題などがありましたら総務課行政係へご連絡を。  
☎2111内線115

## 新春に無火災の町を誓う



町消防団の威風堂々とした分列行進

新春恒例の町消防出初式が一月四日、農林会館前で行われました。

式には、消防団員二百五十人と車両二十二台、住田分署員十五人と車両二台、婦人消防協力隊員百二十五人が参加しました。

式典では、多田欣一町長が「消防団の団結力や組織力を高め、町の安全に万全を期してほしい」とあいさつ。吉田? 団長が「二百八日となった無火災を、長く続けられるように力を尽くしていこう」と訓示しました。

団員らの姿勢や服装、車両の点検に続いては、無火災分団と無火災地区が表彰され、第一、第三、第五、第六の各分団に賞状が、大股、上有住、五葉の各地区に竿頭綬が贈られました。

式典の終わりには、拍子木や手拍子を打ちながら「火の用心」を三唱し、団員らは防火への決意を新たにしました。

また、式典に先立ち世田米商店街では、団員らの威風堂々とした分列行進が行われ、多くの町民らが、その雄姿を見守っていました。

## 安全な町へ思いを新たに



初点検にのぞむ交通指導隊と防犯隊の各隊員

町交通指導隊(佐藤泰二隊長・隊員十人)と町防犯協会連合会防犯隊(佐藤一博隊長・隊員十人)の合同初点検が一月八日、各隊員や関係者ら約三十人が出席し、農林会館で行われました。

点検では、小向正悟助役が「安心・安全な町づくりは、町民生活の原点。隊員の皆さんには、地域のリーダーとしての自覚を持ち、それぞれの役割にあたってもらいたい」と訓示しました。

これを受け、佐藤交通指導隊長が「死亡事故ゼロを目指し、努力する」、佐藤防犯隊長が「犯罪と青少年非行ゼロを目指し、努力する」と決意表明しました。

## 全国の舞台で見事な走り

一月十八日に行われた第十八回全国都道府県対抗駅伝大会に佐々木竜一くん(有中三年)は高瀬IIが、県選手として出場し、県勢最高となる十八位に貢献する見事な走りを見せました。

同二十三日、大会の報告に役場町長室を訪れた佐々木くんは、「順位を一つ上げ、タスキをつなぐことができました。夢の全国舞台で走れたことを光栄に思います。今後も、全国で活躍できるよう努力します」と話しました。

多田欣一町長は「力強い走りに、町民は勇気を与えてもらいました。ご苦労さまでした」とねぎらいの言葉をかけました。



全国のアスリートを相手に快走する佐々木くん